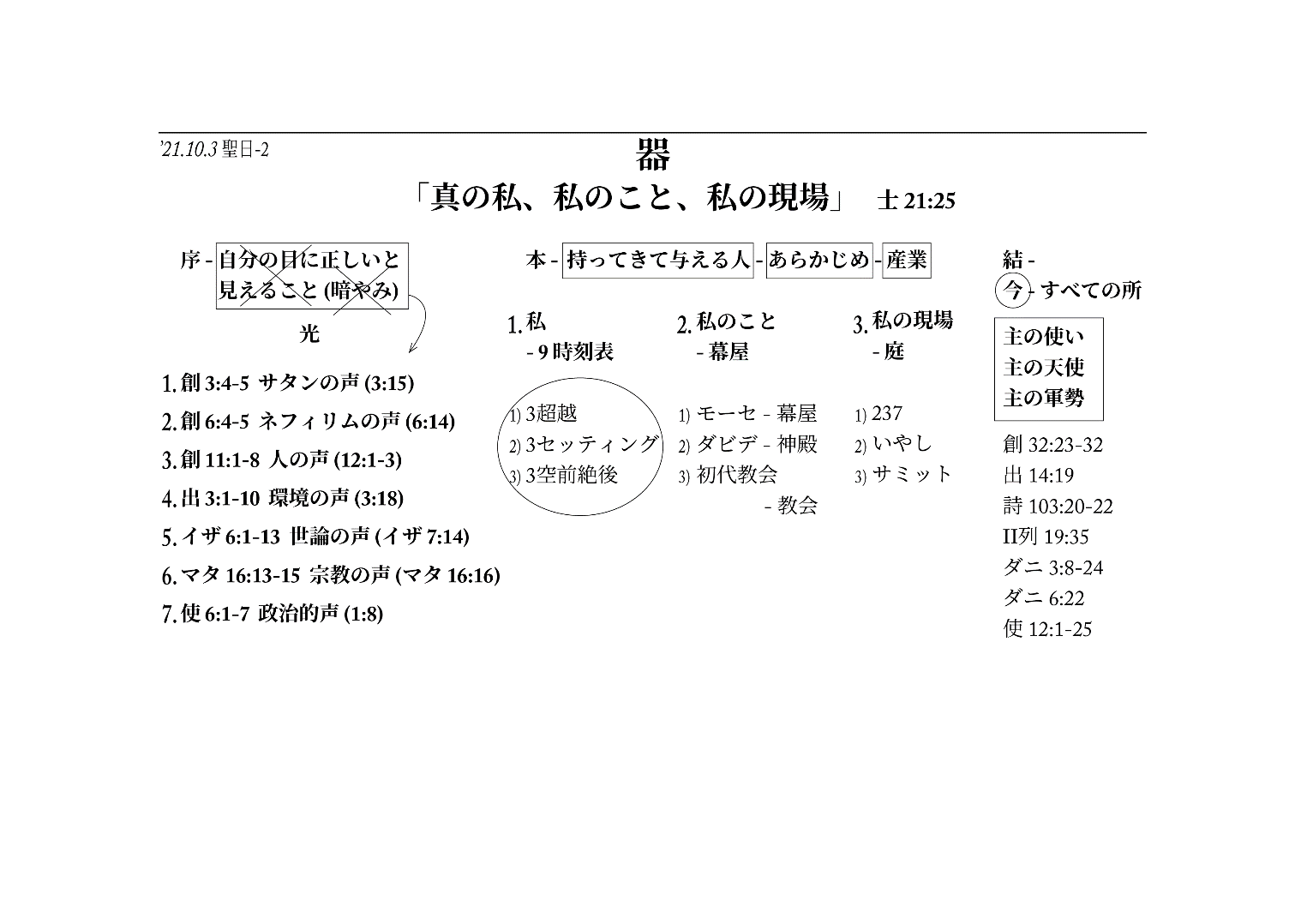
2021第1,2,3RUTC答えの現場（37）(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net

区分　聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝　タイトル及び聖書　器-真の私、私のこと、私の現場(士21:25)

講師　柳光洙牧師　　日/場所2021年10月3日/インマヌエル教会





**士21:25**

そのころ、イスラエルには王がなく、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行なっていた。

**要約**

答えの器がある。熱心にしても、器が準備されなくてはいけない。最善を尽くしたのに、できない人が多い。それならどんな器が最も良い器であろうか。

△神様が願われる真の私、神様が与えられた私のこと、神様が願われる私の現場が最も良い器だ。

□序論\_ 「自分の目に正しいと見えること」 -暗やみがついて来ることになる

△パロ王は、自分が考えたことを最後まですることが、うまくできることだと考えた。世の中の半分のエリートは最後まですることを幼い時から教育を受けたし、士師14人は、自分の戦いを最後までして、エジプト王、サウル王は自分の考えのとおりにした。これは神様がご覧になるとき、おかしいことで、サタンが見るときには一番良いのだ。

1.創3:4-5 (サタンの声-お前が神様のようになれば良い。神様を信じる必要はない)

→創3:15 (女の子孫が蛇の頭を踏み砕くようにされた。光によって解放されようになる)

2.創6:4-5 (ネフィリムの声-私の目に正しいと見えるとおりに生きるとき、サタンの声を聞くことになる)

→創6:14 (箱舟を作りなさい)

3.創11:1-8 (人の声-私たちが力を合わせて、私たちの名前をあげて、バベルの塔を作った)

→創12:1-3 (神様がアブラハムを見て、そこから出て来なさいとおっしゃった)

4.出3:1-10 (環境の声-みな死ぬことになって、ここに引っ張られるようになった)

→出3:18 (神様が解放のメッセージを与えられ、血のいけにえをささげに行くと言いなさい)

5.イザ6:1-13 (世論の声-この声だけ聞いて、みな死ぬようになったが)

→イザヤ7:14 (見よ！処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。)

6.マタ16:13-15 (宗教の声-ずっと宗教の声だけ聞いてエリヤのようだ、預言者のようだと言う)

→マタ16:16 (あなたは生ける神の御子キリストです

7.使1:6-7 (政治的声-私たちがいつ解放されるのか)

→使1:8 (しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。)

△神殿建築の最初から最後まで神様の御声を聞かなければならない。そのとき、多くの人の周囲の暗やみが崩れて神様の光があらわれるようになる。

□本論\_聖書を見るとき三つのことを見なければならない

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 神様が持ってきて与える人 | 神様があらかじめ答えた人 | 世界福音化に合うように  産業を祝福した人 |

→この三つのことを見た人が誰か

△荒野40年で三つのことを見た人

1.神様が造られた真の私-神様の9つの時刻表の中にいる人

1) 3超越-御座の祝福、時空超越、237の光

2) 3セッティング-私の中にある神のかたち、たましい、その生命力を生かしなさい。

3) 3空前絶後- 3空前絶後の祝福を与えるために呼ばれた。

2.神様が願われる私のこと-幕屋中心の人だけが答えを受けた

1)私のことは必要ない。モーセはただ幕屋、会見の天幕、天幕中心だった。

2)ダビデは神殿中心にすべてを準備した。

3)初代教会で教会が完成された。神様が与えられる最も重要な私のことがこのことだ。亡くなるとき、何も持っていくことはできない。ただ神様の教会だけ残るようになる。

3.神様がすべてを持ってきて与えてくださる私の現場-幕屋の外にある三つの庭だ

1)異邦人の庭- 237を意味

2)祈りの庭-いやしを意味

3)子どもたちの庭- RTサミットを意味

この三つのことをのがしたのだ。これ知っている人は絶対に人間中心主義を使わない。神様はこの時代に本当にこのような教会を希望される。

□結論\_ 「今」この契約を握るとき、神様は「すべての所」に働かれる

「主の使いが」 -神様がおもにみことばを送られるときに送られた。

「主の天使が」 -神様がおもに重要なお手伝いをさせるときに起きた。

「主の軍勢が」-霊的戦いが起こるときに送られた。

・創32:23-32主の使いを送ってヤコブと格闘する、あなたの名をイスラエルとしなさい。

・出14:14正確な契約を握ったとき、主の使いがあなたの前で、あなたの後で保護される。

・詩103:20-22神様のみことばを成し遂げる御使いよ!神様のみこころを成し遂げる軍勢よ!主をほめたたえよ

・Ⅱ列19:35ヒゼキヤ王が祈ったその夜に、主の使いがアッシリヤ軍を呼んで行ってしまった。

・ダニ3:8-24 4、5次元の世界を越える主の使いを送って保護された。

・ダニ6:22昨夜に主の使いが獅子の口をふさいだので

・使12:1-25極限の危機の中で初代教会の重職者が集まって祈ったとき、主の使いがヘロデ王を打ち、虫にかまれて死んだ。

・使27:24昨日の夜に主の使いが言いました。「恐れてはいけません！あなたは必ずカイザルの前に立ちます。」

△神様の御声を聞く人には神様が本当に祝福をあらかじめ持って来られる働きが起こる。何も心配せずに「真の私」、「教会」、「世界福音化」を握るべき。

**全文打ち出し翻訳**

今日は重要な神殿建築献身礼拝ですが、私たちには答えの器ということがあります。

器

とても重要です。熱心にするのに器が準備されなくてはいけないということです。また、何かある人は、最善を尽くすのに、ダメな人が多いのです。なぜなら、器が準備されなければなりません。

真の私

どんな器なら一番良い器でしょうか。私たちは何か、きれいな器、大きい器、いろいろな話をすべてするのですが、最も重要なことは、神様が願われる「真の私」が最も良い器です。

私のこと

単なる私のことではありません。神様が与えられる私のこと。

私の現場

普通、人々が私の現場に行くのですが、神様が願われる私の現場です。

□序論\_

自分の目に正しいと見えること(暗やみ)

今日、士師記21章25節に重要な話をしています。ほとんどの人々が、自分の目に正しいと見えること、このように。本当に答えを受ける人々は記憶しなければなりません。

パロ王はどう考えていたでしょうか。自分の考えたことを最後まですることが、良くできる王だと考えたのです。そうでしょう。世の中でその、エリートの中で一人前になっていない人ですが、多いですね。このように主張します。「最後まですべきだ」このように出てきます。そうです。ほとんどそのように学んでいます。

暗やみ

ここは必ず暗やみがついて来るようになっています。必ず記憶しなければなりません。今、ほとんどのエリートという、勘違いする人々が、そのように考えます。「最後まで、私はこれ、一度したことは最後まですべきだ」このように教育を幼い時から受けて来ました。士師14人が立って、ポジション争いは最後まですべきだと。

代表的なのがエジプト王で、それからサウル王がそうしました。これまでイスラエルの人々は、度々このまま(自分の目に正しいと見えること)をするのです。もちろん、私一人考える時は良いでしょう、それは。何、「私が私の思うとおりに最後までする」どれくらい恵みになるでしょうか。ところが、相手が見るときは、最も嫌なのです、それは。そうでしょう。さらに多くを知っている人が見るときは、滑稽なのです。そうでしょう。神様がご覧になるときは、おかしいのです。悪魔が見るときは、一番良い単語です。「そうだ、お前の思い通りに生きて」それが創3章です。「お前が神のようになるのだ」この暗やみがずっとついて来ます。ここに光を放つことができる契約を、みなさんは握らなければなりません。

1.創3:4-5サタンの声(創3:15)

この、今、創世記3章4節5節は、サタンの声です。そうでしょう。「お前が神のようになる。神を信じる必要なくて、お前はいくらでも成功できる」このように。「お前のことをよくしなければ」そのような人が多いです。「あぁ、教会に行って祈ること、何なの。お前がしっかりしなくては」どれくらい正しい言葉でしょうか。「お前が神のようになるのだ」このようにして暗やみにしっかりと捕えられます。

創3:15

このとき「女の子孫が蛇の頭を踏み砕く」光によって解放されるようになるのです。

2.創6:4-5ネフィリムの声(創6:14)

聖書を一度詳しく見てください。私たちは何の声を聞いて生きているかを見てください。ネフィリムの声を聞いて生きます。私たちがサタンの声を私が聞いて生きているということは、まったく考えていないでしょう、そうでしょう。これが(自分の目に正しいと見えること)これ(創3章)と関連しているのです。自分の目に正しいと見えるように生きようとするとき、これが(創3章、6章)がつながってきます。

創6:14

それゆえ「あなたは箱舟を造りなさい」信仰生活は本当に難しいのではないのですが、よく悟ってしまえば。

3.創11:1-8人の声(創12:1-3)

創世記11章1節から8節なんでしょうか。

人の声

これが全部の人の声です。「私たちが力を合わせて、私たちの名前をあげて」ということです。このように出てくるでしょう。バベルの塔そのように出てきました。

創12:1-3

神様がアブラハムを見て、そこから出て来なさいと言われるのです。「そこにいてはならない」私は本当に見つけるのが難しいです。自分の考えを「あぁ、違う」と変えながら、神様の計画を見つける人、本当にいません。そのような人は無条件に成功します。光が照らすからです。ですから、ダビデが立派なのがそれです。ナタンが自分の誤りを指摘したら、そうだと言いました。そのような人はあまりいません。ですから、神様がダビデのような人物を用いられたのです。さあ、私たちはもう神殿建築、そうすれば、本当に一度神様の御声を聞かなければなりません。全世界の神殿は人の声を聞いて、人の声でしたのですが、私たちは神様の御声を聞かなければなりません。

4.出3:1-10環境の声(出3:18)

さあ、これがなんでしょうか。出エジプト記3章1節から10節です。

環境の声

人の声を越えて、すべて世論の声を聞くのです。ここで神様は、ああ、ここは環境の声です。環境。環境が何、死ぬしかありません。すべて死ぬようになったのですが、何。みなここに引っ張られるのです。

出3:18

このとき、神様が解放のメッセージを。「血のいけにえをささげに行くと話しなさい」

5.イザ6:1-13世論の声(イザ7:14)

同じように倒されます。見てください。一つだけ分かれば良いのですが。イザヤ6章1節から13節を見てください。世論の声

すべての神様の人々が世論の声だけ聞いて……。そして、みんな死ぬようになってしまいました。いまは。

イザ7:14

そのとき、神様がおっしゃいます。「処女がみごもって男の子を産む」「見よ」ですね。「それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。」ものすごいメッセージです。

6.マタ16:13-15宗教の声(マタ16:16)

私たちはほとんど宗教の声だけ聞きます。なんでしょうか。見てください。マタイ16章13節から15節に。

宗教の声

何の声を聞きますか。ずっと宗教の声だけ聞いて。「エリヤのようだと言います。エリシャのようだと言います、預言者のようだと言います」「あなたはわたしのことをだれだと言いますか」

マタ16:16

「あなたは、生ける神の御子キリストです」

7.政治的声

ほとんど私たちはどうしようもない人々の政治的な声だけ聞きます。

使1:6-7

それが使徒1章6節7節です。いつ解放されるか。何、正しいことでもあります。

使1:8

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」すべてのことに、それでこそできるのですが、神殿建築の最初から最後まで神様の御声を聞かなければなりません。

すると二つのことがくるでしょう。多くの方々の周囲に暗やみが崩れるでしょう。今回。本当に神様の光が現れるでしょう。必ず回復しなければなりません。

□本論\_持って来て与える人、あらかじめ、産業

さあ、みなさんが聖書を見ながら、三つのことを見なければなりません。

神様が静かにしているのに、祝福を持って来て与えられる人がいます。「持って来られる」そうでしょう。聖書を一度見てください。祝福を受けなさいと言われるのに、神様が訪ねて行って取っていく人がいます。そうでしょう。ヨセフの兄のような人、サウル王のような人、生きようとあがいて、神様が訪ねて行って奪い取ってしまうでしょう。

[持って来て与えられる人]

神様が持って来て与えられる人がいます。どれくらい良いでしょうか。じっとしているのに、訪ねてきて答えられるのです。これが、ヨセフがどこにいても訪ねて行って、このように。そうでしょう。あっ、今頃、ダビデがどこにいるだろう。訪ねて行って祝福されるのです。今頃、ヨセフの兄たちどこにいるだろう。見て神様がさえぎってしまわれます。そうでしょう。

[あらかじめ]

そして見てください。神様があらかじめ答える人がいます。あ、まだ働きもできていないのに、あらかじめ答えを見てしまった、神様が。それが重要ですね。光が照らされながら、このことがくるということは、どれくらい重要でしょうか。

[産業]

また、あります。神様が世界福音化にぴったり合うように産業を祝福されるのです。本当に世界福音化に合うように産業を祝福される、これよりもっと大きい祝福はありません。みなさんそうではないでしょうか。あの人、少し、本当になかなか良い人であるように見えれば、私が重要なこと任せるでしょう。そうでしょう。あの人、何か泥棒であるようだ、このようにすれば、ひょっとしてそこに行くことがあると注意するでしょう。そうではありませんか。神様の祝福がそうだということです。あらかじめ取っていくのでなく、神様が度々持ってきて与えてくださり、どこにいても、このように。

-荒野40年で三つのことを見た人

荒野40年で三つことを見た人です。荒野40年、過ぎたのではないですか。これを見た人には、神様は三つのことを言われました。何かお金を心配することはありません。神様が。エリコを崩しておいて財産を作られて、神様はすべてなさいます。

私－9つの時刻表

最初です。本当に荒野40年通るので、神様が作ろうとされる私は何かということです。これを見つけた人です。神様が願われる真の私とはなんでしょうか。神様の9つのの時刻表の中にいる人。

私のこと-幕屋

また、神様が願われる私のことは何でしょうか。40年間に見たことではないでしょうか。40年間歩いてきながら、神様が願われる私のことはなんでしょうか。幕屋です。これを中心にする人だけ、答えを正しく受けました。

私の現場-庭

荒野40年間来れば、神様が私に分かるようにされた私の現場は何でしょうか。なんですか。幕屋の外にある三つの庭です。これを分からなければなりません。神様の時刻表を知っている人は、じっとしていても答えがくるでしょう。じっとしているのに、来ます。神様が持って来て与えられるのです、このように。そうでしょう。あらかじめ与えられるだけでなく、神様とみなさんの産業が世界福音化にぴったり合うように出てくるようにしてくださるのです。今日、契約を握ってください。私たちの神殿建築、簡単なことではありません、考えをよくしてください。

1.私－9つの時刻表

重要な9つの時刻表は、なんでしょうか。出てきたのではないですか。

1) 3超越

御座の祝福を先に受けなさいということです。3超越の祝福を。これが神様の時刻表です。心配せずに、あなたが3超越の御座の祝福、時空超越、237の光。その祝福から、その中に入って来なさいということです。

2) 3セッティング

そして、なんでしょうか。あなたの中にある神のかたち、それを生かして、たましい、それを生かして、生命力を生かしなさいということです、3セッティング。

3) 3空前絶後

神様があなたを呼ばれたのは、三つの空前絶後の祝福を与えようと呼ばれたのです。この時刻表の中にぴったりいる人です。来るしかありません。来なくても良いのですが、来ます。心配する必要がありません。

1部で話しましたが、みなさんがどれだけしているでしょうか。インマヌエルが世界福音化、一番、献身をたくさんして、献金、みなさんが一番たくさんしました。強調しなかったのに、したのです。私は驚きました。今回、整理しながら分かりました。整理しながら報告するのを見たのです。インマヌエルが献金何百億をしたのです。みなさんが、あれこれしたのです。最高にたくさんしました。それなら、私たちが、本当にインマヌエル時代を開く神殿を準備するならば、私たちが今、全部、人間の考えをみな捨てて、神様の御声を聞かなければなりません。そうでしょう。

2.私のこと-幕屋

私のことは何も必要ありません。

1)モーセ-幕屋

モーセがこれが自分のことだったということです。モーセは一生涯、幕屋、会見の天幕、天幕。このように出てきたのではないですか。モーセは、たんに目を開くときごと、一生の間、幕屋、天幕、会見の天幕このように出てきました。そしてなんでしょうか。そうするうちに、三つの祭りとか、そうして従って出たのです。

2)ダビデ-神殿

さあ、これを完全に今、ダビデのような人は神殿中心で、あらゆる事を準備したのです。ダビデが持っていた自分こと。これ一つしかありません。幼いときに「あなたは王になると」契約の箱、神殿。話しました。ダビデが持っていたのは、それしかありません。

神様が何、事実はダビデに、すべての答えをみな持ってきて与えてくださいました。みなさんが握らなければなりません。みなさんの本当の身分はこれです(3超越、3セッティング、3空前絶後)。

3)初代教会-教会

みなさんが、これが神様がくださった私のことだなと握ることは一つしかありません。今、私たちの、この人たちに来て初代教会を見てください、ここで完成になりました。

ここは幕屋、ダビデは神殿、教会。これしかないでしょう。これが私のことです。神様がくださった最も重要な私のことが何か。これです(幕屋、神殿、教会)。それは、どうするからでしょうか。個人的にすること多いのに……。本当に一度確かめてみましょう。一つだけ一度、確かめてみましょう。みなさんがこの世を去る日、みなさんの産業は、みなさんの手から離れます。次世代に行ってうまくいくという保障もありません。みなさんがある日、神様が呼んで離れる日、みなさんの名前で残ることは神殿です、教会。そうでしょう。残りのことは、みな他の人の手に行きます。みなさんの会社。他の人の手に行きます。集めておいたお金。他の人の手に行きます。神様の教会、生きています。記憶しなければなりません。

3.私の現場-庭

神様がすべてを持って来て与えられる私の現場があります。これをイスラエルがのがしました。

1) 237

なんでしょうか。異邦人の庭、237です。

2)いやし

祈りの庭、いやしです。

3)次世代

子どもたちの庭、Remnantサミットです。

この三つをのがしたのです。これを知っている人には、本当にみなさん、神様が持って来て与えてくださいます。待っていてください。それゆえ、これを知っている人は、わざわざ人間中心主義を使いません。人間中心主義を使えば損で、使いません。世の中の事も人間中心主義を使ったことには答えがないのですが、神様のことなのに、ありません。答え。後ほど見ればありません。神様がこの時代に、本当にこのような教会を願っておられる、この話です。契約を握ってください。

□結論

今－すべての所

すると今、みなさんがこの契約を握ったのですが、今、すべての所に働かれるようになります。そうでしょう。あらかじめ答えを与えられるのも感謝ですが、すべての所に働かれます。それゆえ、聖書を見れば、このようなみことばが出てきます。

[主の使い]

あるときは、主の使いが、こうして出ます。そうでしょう。

[主の天使]

あるときは、主の天使が、このように出てきて。

[主の軍勢]

あるときは、主の軍勢が、このように出てきます。

みな同じことですが、違います。使い、このようなときは、神様のみことばをおもに送る時です。主の天使が、こういうときは、おもに神様が重要なお手伝いをさせるときに起こることでしょう。軍勢このようなときは、霊的戦争が起こるときだということです。私たちも戦争が起こるとき、軍隊を送るでしょう。個人的なことが起こったのに、その軍隊を送りますか。それはないでしょう。

創32:23-32

創世記32章23節から32節に、誰も分からないです、これは。霊的な目を開いた人だけが分かりました。神様が主の使いを送って、ヤコブと格闘したのです。そのとき、与えた名前です。「あなたの名をイスラエルとしなさい」そのイスラエル、有名な名前でしょう。そのとき与えられたのです。

出14:19

聖書をよく見てください。みなさんが契約を正しくすると、このようなことが、今このようなことが広がります。私たちはここに座っているのに、神様がみなさんが正確な契約を握ったので、主の使いをみなさんの前に。私たちはここにいるのに、前に。私たちはそこを通過してきたのに、私たちの後に。働くのです。

みなさん、救われていない人は、霊が暗いので、何の話なのかが分かりません。救われていないから。

詩103:20-22

その、ダビデを見てください。「神様のみことばを成し遂げる御使いよ。神様のみこころを成し遂げる天の軍勢よ。主をほめたたえよ」このことばは、ダビデがこれを分かったということです、これが。重要なことは。

その有能な将軍で、ダビデが、この祈りをささげたという事実です。

Ⅱ列19:35

Ⅱ列王記19章35節です。その日の夜に、このようになっています。その夜に、その日の夜に。何の夜でしょうか。ヒゼキヤ王が祈ったその日の夜に、このようになっています。神様が主の使いを送られた、こう言われています。そして、アッシリヤ軍を呼んで行ってしまったのではないですか、そうでしょう。

これは変なことが一つもないのは、みなさんが亡くなるとき、神様が主の天使を送って連れていきます。そうでしょう。変なこと一つもありません。あの地獄に行く人は、神様が主の使いを送って引っ張っていくのです、このように。どうすることもできません、それは。

ダニ3:8-24

獅子の穴(火の燃える炉)に三人が入ったが、王が外から見ると4名でした。なんの話なのか分かりますか。4次元、5次元の世界を越える神様が、主の軍勢を送って保護したのです。

ダニ6:22

ダニエルが話しました。「昨夜、主の使いが獅子の口をふさいでくださったので」噛みつかれませんでした。

使12:1-25

極限の危機に会ったとき、初代教会の重職者が集まって一つも恐れませんでした。祈りました。「その日の夜に」そうしました。祈る夜に。「主の使いがヘロデを打った。虫にかまれて息が絶えた。」こう言いました。神様の時刻表が急だったからです、福音を遮る手先を連れていってしまったのです。その王を呼んで行ってしまいました。

使徒27章24節にも、パウロが「昨夜、主の使いが私に話した」こう言いました。今、行われているのです。今。「恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。」

私たちのインマヌエル釜山で、神殿建築の答えの奥義を正しく味わうべきです。みなさんが本当に神様の御声を聞く人。今回、みなさんに完全に神様が本当の祝福をあらかじめ持って来て与えられる、働きが起きる重要な時刻表です。これを見つけなければならないでしょう。

私はこの祈りをいつもしています。他のことが必要ないからです。みなさんがこの祈りをいつもしていれば、残りはついてくるからです。心配すること一つもありません。

神様は、みなさんの未来をすべて知って、責任を負われるので、私たちが心配することはありません。必ずしなければならないことがあるならば、はやく本当に真の私、教会、世界福音化を握らなければなりません。わかれば終わりです。そうではありませんか。私たちがあれを何をする、しない、以前に。私たちもそうでしょう。親と子どもの間にも、話を子どもがすべて分かって聞けば終わりです。

学校で勉強できる学生たちが、特徴がそれではないでしょうか。先生が教えることが分かれば良いでしょう。聞き取れなければ、自分のことにならないのです。それゆえ、毎週、毎週ごとに、みことばが流れて成就するのをよく見なければなりません。説教を聞くのでなく、神様がなさるのを、見るのです。すると、導かれる人ならば、感じるでしょう。「どうして、牧師先生が説教したことを再び戻って、また、するのか」このように見るのではありません。私も分かりません。なぜでしょうか。さらに説明すべきという感動が私に来たので、そのようなことでしょう。なぜでしょうか。神様がくださる恵みがさらに多くあるのに、私が次に移ることにはならないでしょう。私に最も重要なのがあるならば、私がひょっとして、私の説教をしてはいけないでしょう。この神様のみことばを持って、みなさんに私はお手伝いをするのです。私が24祈ることは、何も別のことではありません。神様のお手伝いを私が上手にしなければならないのです。みなさんは、この時代に用いられる主の民なので、そこに私は今、お手伝いをしています。

来週に見ましょう。今週に契約を握って本当に答えを受ける時刻表になるでしょう。祈ります。

祈り

神様、感謝します。私たちを光の子どもとして呼ばれたことを感謝します。暗やみの中で死んでいく者たちを生かすように神殿を建てることができますように。その神殿で三つの庭を回復する神様の願いが成し遂げられますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン